

綿毛

たんぽぽ



NO. 90
2006・12・13
発行 綿毛編集局
大森真由美
xxx-xxxx

区制20周年記念事業

栄区民まつり 大盛況のうちに

11月18日(土) 柏陽高校 校庭

ぼらんていあ村・フリーマーケットに参加

今年の区民まつりは区制二十周年記念事業の一環として盛大に開催されました。

会場も柏陽高校の広い校庭となり、模擬店や行政等PRコーナーの参加団体、特設ステージの出演団体、例年設置される消防体験・スポーツ体験・健康づくりイベント・ミニSLなど、それぞれ一段と趣向を凝らした内容でした。その上、祭り日よりの好天にも恵まれ大変な人出で終日賑わい、六万人以上が来場したようです。

たんぽぽとしては「ぼらんていあ村」とフリーマーケットに参加しました。

今年のぼらんていあ村は、テントが二列平行に並び、その間に通りができる配置となったため、ぼらんていあ村と大きく描かれた黄色の横断幕を掲げ、より村の存在をアピールしました。この旗は急遽工房に協力してもらって、たんぽぽが作成したものです。

たんぽぽコーナーでは、からく

り三面工作を体験してもらいました。一箇所でも間違つてシールを貼るとからくり絵が出来上がらないので簡単そうですが、気を使う作業です。悪戦苦闘する姿は大人も子供も一緒でした。

フリーマーケットも相変わらずの人気で、朝から多くの人だかりができていました。買い手との駆け引きを楽しみながら沢山の品物をお売ることが出来ました。

模擬店には多くの福祉施設が出店していますが、「わくくくらぶ・さかえ」は今年初めての参加でした。今回は手造りホットスノープリ3種類を販売、人気は上々で、すべて完売できたようです。



良く目立つでしょ

また、すぺーすモモで販売されていた炊き込みご飯は、当日の協

力会員の昼食としておいしく頂きました。このご飯作りにも会員が協力しています。

今回協力いただいた会員の皆さん、一日お疲れさまでした。



ぼらんていあ村では、からくり三面工作みんな真剣。

フリーマーケットは一日中賑わい、大いそがしでした。



当日の協力者大募集

『新春童謡を歌う会』

☆説明会 一月十七日(水) 午後二時から

☆本番 一月二十四日(水) 午前九時三十分集合

☆連絡 滝口(xxx) xxx

秋の一日ゆったり、のんびり バスハイク

ぐるーぷ・なのはな 11月7日(火)
みどい会 11月14日(火)



ぐるーぷ・なのはな

『横浜人形の家と市電保存館』

武井 和子

本日は、これから福祉バスに乗って「なのはなのバスハイク」にご一緒していただきます。

朝方まで降っていた雨もあがり、少々風がありますが、暖かな秋の一日どうぞゆったりと横浜見学に出発したいと思います。

まずはテーマソング「朧月夜」なのはな島に入り陽薄れ...」バス中に元気な声が響きます。

リニューアルした人形の家、入りますと正面に「かわいい青い目の人形」が皆さんを出迎えてくれます。貸切り状態の館内、どうぞごゆっくり世界中の人形達と遊んで下さい。

次は、山下公園をゆっくり歩き、ホテル二階の見晴らしの良いところでリッチなランチを味わっていただきます。窓越しに色づき始めたイチョウをながめながら(とてもおいしかったです)お腹いっぱいになりましたでしょうか？



今度は滝頭にある市電保存館の見学です。明治三十七年から昭和四十七年まで市民に親しまれた市電が保存されています。七台の車両が当時を忍ぶようにならんでい

て三十数年前にタイムスリップした様な気分なられたことでしょうか。のんびり、ゆったりとした気分のまま、バスは中野ケアプラザに無事帰ってきました。

本日は「なのはなのバスハイク」にご乗車いただき、ありがとうございました。なのはなは毎月第三火曜日、中野ケアプラザにて活動しています。また、ご一緒できますのを、楽しみにしております。

本日のガイド 武井 和子

みどい会

『城ヶ島と三浦みかん狩り』

土岐 和美

十一月十四日、好天に恵まれ、やる気満々で予定時刻前に三浦市巡りへと出発。

まずは、城ヶ島公園へ、暖かなながら車椅子ごと飛ばされそうな強風ではありましたが、そのお陰で美峰富士を堪能。クイズをしながら、全員飛ばされる事無く散策を終えサブライズのお茶の後、白波踊る中に居る如くのホテルでの昼食はまぐろ漬け丼を賞味。

メインみかん狩りは、車椅子でも

無理なく入れ、あちこちの木に採りつき胃に、みやげ袋(知恵を絞る大きさには負け無いぞ)に詰め、帰って量れば1、? kg。

最後に三崎まぐろが、安価なスーパーで真剣に夕食のお買い物。車中は魚屋さんの様な香りに満ち、帰路に着きました。

バスガイドさんからの情報によれば、横須賀市野比は今後地価が上昇するかも?、!、とか...しかしながら、もしこれで投資した方、筆者は任を負いませんので、念の為。綿毛しばらくの土岐でした。

【いただきます】



特別養護老人ホーム 陽のあたる丘 Misono

ふれあう心・ふれあう手・笑顔で支える優しい介護

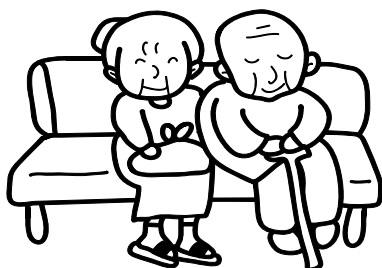
個人の尊厳とプライバシーを大切にした良好な生活環境を提供し、「生き生きとした生活をする」を重視した介護を目標に、ユニットケア(個室10部屋が1ユニット)の小規模共同生活型の特色を生かし「自分の室」の感覚で「自分らしい生活・普通の生活に近づく」等、個別ケア・サービスメニューが取り込まれています。



マンションのような全景です



明るく広い個室です



【概要】

- *所在地 栄区鍛冶ヶ谷
- *開設 18年4月
- *定員120名 全個室
- (ショートステイ 定員20名含む 全個室)
- *1室あたり 16.03㎡~17.42㎡
- *地域多目的交流スペース
- 1F・3Fに趣味の会、クラブ活動などに利用できるスペースがあり
- 3Fスペースは写真や絵の展示会にも活用できる。

【施設案内】

- 理容室——月2回出張理容師によるカット・毛染め・パーマ(有料)
- 診療室——週1回歯科医による受診あり
- 静養室——2室あり、熱のある方・病院より退院したての方等・利用可
- サービスステーション——各階に24時間介護員が常駐
- 共同生活室——キッチンや冷蔵庫・電子レンジもあり、簡単な料理が可能です
- 大きなプラズマテレビで食後のお楽しみ、入居者同士の交流の場
- 渡り廊下——交流ギャラリーも兼ね、趣味の展示スペースあり
- 日差しが差し込みご家族とのくつろぎの場です
- 浴室——一般浴・機械浴
- ユニット——華の丘・彩の丘とA・B棟各ユニットにはお花の名前が付いています
- 居室——約8畳前後あり全室床フローリング・トイレ2室共同で使用



渡り廊下の作品

鎌倉街道の鍛冶ヶ谷バス亭より、徒歩数分の小高い丘に太陽がふりそそぎ、その名のとおり「陽のあたる丘」で、とても静かな空間にたたずんでおり、暖かさを感じた見学でした。

栄区制20周年

栄区は昭和61年、旧戸塚区から分区し誕生しました。そして「たんぼぼ」は栄区として始めて開催された「看護教室」のOBにより平成元年に結成され、間もなく20周年を迎えます。区制20周年記念式典が11月3日に開催されたのを機に、20年のあゆみを簡単に振り返ってみましょう。

【以下の点に留意してご覧ください】

- ・事業や施設の「開設」「開所」「スタート」などの文言は省いてあります
- ・新事業・継続事業については初年のみ記入し、終了年は記載していません。
- ・たんぼぼの活動に関係のある内容を中心に記入しています。

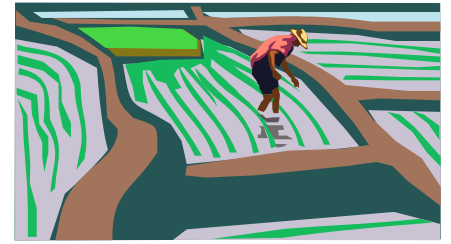
年号	西暦	たんぼぼ関係	福祉関係	区の出来事
昭和 61	1986		知的障害者厚生施設「朋」	栄区 誕生（11月3日） 区役所／保健所開設
62	1987		地域作業所「草の実」	シンボルマーク制定
63	1988		さかえ福祉活動ホーム	消防署／休日急患診療所
64 平成元	1989	2月6日たんぼぼ発足 上郷苑喫茶開始・ボラ連絡会入会	地域作業所「かつら工房」	土木事務所／図書館
2	1990	エプロン製作	地域作業所「らんぷ」	矢沢小コミュニティースクール
3	1991	初めてのバザー（公会堂で） やよい会発足 講演会（3回）・見学会	ふれあい地引網（第1回）	豊田地区センター 公会堂・スポーツセンター 区の花「キク」制定
4	1992	なかまの家七夕交流（第1回） 3周年記念パーティー（朋にて） たんぼぼ工房として制作開始	一人暮らし老人交流会（第1回）	「上郷森の家」 本郷小コミュニティースクール
5	1993	第1回童謡を歌う会 たまり場ピエロ・「ピエロの日」 バスハイク（第1回箱根）		洗井沢川せせらぎ緑道
6	1994	横浜市長表彰受賞 「ピエロの日」花見（第1回）	豊田地域 CP	生涯学習支援センター
7	1995	Tシャツ制作 定例チーフ会開始	ふれあい運動会（第1回） さんぼみち（公会堂）	区役所新館／訪問看護ステーション
8	1996	あんしんワンデイ（豊田 CP） 市長訪問トーク	「すべーすモモ」／「CAN」 ボランティアまつり（第1回）	区制10周年式典
9	1997	上郷苑「たんぼぼまつり」第1回		防災計画策定
10	1998	10周年記念シンポジウム	中野地域 CP／SELP・社	区民文化センター「リリース」 福祉保健活動センター 栄区ホームページ
11	1999	10周年パーティー（ホテル好養） 運営委員会設置	桂台地域 CP／「径（みち）」 「わーくくらぶ・さかえ」 ようこそであい広場（第1回）	
12	2000	知って安心ボランティア講座	クロスハート栄・横浜 障害児サマースクール開始	介護保険
13	2001	「しゃべり場とまと」 市長とのふれあいトーク	小菅ヶ谷地域 CP 精神障害者生活支援センター 笠間地域 CP	福祉保健活動拠点整備
14	2002	「たまり場ピエロ」上之町へ移転		区福祉保健センター
15	2003	会則制定／15周年親睦会 ホームページ公開	支援費制度	本郷台駅エスカレーター
16	2004	15周年記念誌「綿毛が飛んだよね」 上郷森の家でバーベキュー	地域作業所「まってる」	福祉保健活動拠点移転 本郷台駅エレベーター
17	2005	「ピエロの日」電車で映画鑑賞	地域福祉計画策定	
18	2006		ソイル栄／リエゾン笠間 障害者自立支援法	大船駅笠間口 上郷地区センター

栄区の歴史

栄区の成り立ちを区のホームページを参考にほんの少し紹介します

(十分な調査をしていません。ご了承ください)

栄区の歴史は、古くは飛鳥・平安にさかのぼるが、特に鎌倉時代には幕府との結びつきが深く、東方に対する軍事的重要な役割を果たした。



時代	西暦	様子	遺跡など
縄文時代	5000年前	人間の歴史が始まった。現在の海拔 20m までは海。区役所周辺は水の中。	上郷町猿田遺跡(諸磯式土器)
	4500~ 3000年前	高台の水辺に集落が営まれていた	遺跡からは貝塚は無く、魚の他は陸の動物、鹿・猪・鳥などを食していたよう。
晩期	紀元前 300年	人口が減少(地震が原因と推察されている)	桂台式土器(桂台周辺のみしか見られない)
弥生時代 後期	紀元 100 年以後	人口が増加し、農耕が始まる。石器から金属器へ。	中期後半の宮ノ台式土器が、笠間の青木神社裏から出土
古墳時代	400~800	農業が定着。農耕具に鉄器が登場。	公田町の上藤(じょうろう)塚 横穴式の古墳多数
奈良時代	710~793	班田収受法(土地制度)、国家財源となっている公田(こうでん)が公田(くでん)になった。土鍋で炊く「かゆ」「芋粥」「ぞうすい」が主食。	上郷猿田遺跡(上郷高校敷地内) 竪穴住居
平安時代	793~ 1185	私財法が制定され耕地が私有化した。栄区はすべて山内首藤(すどう)氏の経営する荘園の中にあつた。	小菅ヶ谷の春日神社
鎌倉時代	1185~ 1336	「いざ鎌倉」鎌倉街道は幕府の生命線。鎌倉三道“中の道”“下の道”はいたち川を通っていた。栄区は北条家の私領であつた。	上郷の証菩提寺(軍事基地として)源頼朝 建立と言われている。 武家屋敷のあとがある。
戦国時代	1467~	小田原北条氏の支配が栄区にも及ぶようになる。	光明寺(上郷町)・長光寺(小菅ヶ谷) 長慶寺(中野町)
江戸時代	1603~ 1868	徳川家康が栄区内で鷹狩をしたという伝説がある。栄区は徳川氏の直轄地で、農民は大変苦しい日常だった。開国前、使役に多数が狩り出された。	長光寺の薬師如来 長慶寺(家康から送られた茶碗がある) 小菅ヶ谷に市内最古の石地蔵 上郷瀬上の森の池は溜池として建設される。
明治	18068~ 1912	1878年7月 栄区は鎌倉郡となる。 1889年 市町村制施行—鎌倉本郷村 本郷尋常小学校(中野町柏陽団地) 本郷・豊田・千秀 3小学校が古い。 柏尾川は豪雨でしばしば氾濫、1907年 ごろから2年8ヶ月をかけて改修工事。	宝蔵院(郡役所一戸塚区吉田町)
大正	1912~ 1926	弘明寺から鎌倉まで乗合自動車開通— のちの神奈川中央交通。 1920年 本郷村に電灯がつく。 1923年 関東大震災	* 関東大震災の被災者が鎌倉街道沿いに 避難している時、自らも大きな被害があつたの に村では炊き出しをして援助した。
昭和	1926~	1938年から本郷台を中心に広大な海軍 食料廠が建設される。 1939(昭和14) 本郷村・豊田村が戸塚 区の一部となり横浜市へ編入。 1973(昭和48)国鉄本郷台駅開設	* 昭和13年12月の人口 本郷村 4316人 豊田村 2978人 * 平成18年10月の人口 124361人



◆ ふれあい運動会

十月十八日(土)

好天に恵まれた十月の土曜日、例年開催されている「ふれあい運動会」が桂台中学校で行われました。区内の障害者団体や施設の利用者、七中学校の生徒、民生委員、ボランティアと一緒に協力し合って競技を楽しみました。



まずは全員で準備体操です

◆ 栄区制二十周年記念式典

十一月三日(金) 栄公会堂

昭和六十一年十一月二日に栄区は戸塚から分区し誕生しました。現在十二万四千人が暮らしています。当日は様々な分野で活躍されている方々に感謝状が贈呈され、その後第二部として記念コンサートがありました。コンサートは栄「第九」合唱団と栄少年少女合唱団による「ふるさとの詩(うた)」と題して「栄区賛歌」三曲が披露され、(弦楽四重奏のひととき)もあり、ゆつたりとした時間を過ごすことができました。

◆ 第二十回栄区社会福祉大会

十一月二九日(水)

栄区社会福祉協議会が主催する福祉大会も二十回目となりました。第一部では、ボランティア活動功勞として、パソボラ横浜・さかえおもちや病院など八団体が、金品寄託功勞では一団体、そして福祉団体自主活動功勞では七名の方が受賞しました。

第二部は、男性ボランティアグループの「いでたち」と本郷中央地区社会福祉協議会の活動発表があり、その後様々な分野の参加者がグループに分かれて情報交換や意見交換を行いました。

い交流しました。

◆ 横浜栄・防災ボランティアネットワーク レポート

十月十七日に設立総会を終え、現在の会員数は団体・個人合わせて六十四となりました。

設立後の第一回定例会では自己紹介をおこない、会員の幅広さを改めて感じました。今後の活動や方向性について活発な意見交換があり、とりあえず二つのチームを作り、研修活動と要介護者への防災対応についてそれぞれ話し合う分科会を設置することにしました。

◆ 小菅ヶ谷小学校で車椅子体験

一二月七日(木)

社会福祉協議会を通して依頼のあった福祉体験の協力に二名の会員が参加しました。

対象は四年生、校庭でまず車椅子の基本的な扱い方について実践しながら説明、みんなしっかりと聞いてくれて感激。その後グループに分かれて三十数名が実際に乗り手になったり押し手になったりと短い時間でしたが体験してもらい、段差ではその扱い方の大変さを実感したようでした。感想や質

問を聞き、ボランティア活動について話をする時間も大変有意義な時間を持つことができました。



みんな真剣です

◆ 障害者週間キャンペーン

十二月五日(火)

例年本郷台駅前で行われるキャンペーンが今年もあり、チラシの配布と施設や当事者団体のバザーも同時におこなわれました。



お話ししながら品定めを

栄公会堂の展示会場



シニアクラブ作品展

ピエロの日メンバーの力作が栄公会堂に揃いました。普通の展示品は手を触れることはできません。でも、今回の我らの作品は「からくりおもちゃ」で、さわって考えて遊んでもらうのがコンセプト、展示するために工夫を要しましたが、シニアクラブの職員さんの協力でなかなか良い雰囲気を出すことができました。

また、「しやべり場とまと」からも素晴らしい吊るし雛を出して

もらい、華を添えることができました。一生懸命作ったみなさんの声を聞いてみました。

- * 初めての体験だった
- * たこ作りが面白かった
- * 牛乳パック工作、頑張った
- * 殆ど携われなかった
- * 楽しかった
- * 素晴らしい出来上がり
- * チーム一丸となれた
- * からくりが不思議
- * 良く考えたものだ

(参考本が有ること説明)

- * 一生懸命やった
- * 出来上がってびっくり
- * 脳のトレーニングになった
- * 少し手伝っただけ
- * 集中出来て楽しかった
- * 出来上がるまでどのようなようになるか分からなかった
- * 失敗もしたが皆で協力できて良かった
- * なかなか出来ず大変だった
- * でも面白かった
- * 色塗りを頑張った

- * 想像と現実が違ったが協力できて良かった
- * 絵がうまい
- * こわいけど優しさのあるオバケができた
- * 見本も無いまま頑張った
- * 簡単と思つて選んだのに大変だった
- * 素晴らしい完成品
- * 部分的にしか仕事が出来なかった
- * 何度も絵を描き直した
- * 作業過程の難しさを教えられた

作品を囲んで記念撮影



童謡を歌う会も

がんばります

十二月六日は童謡を歌う会に使用する用品づくりに専念しました。



狸の面と腹・鍬と鋤・ラッパ・帽子数種類など、在庫整理を兼ねて、手持ちの材料で工夫をし、それはそれは立派な小道具ができました。ステージで使うのが楽しみです。年末二十七日は今年最後のプログラム、忘年会を予定しています。おやつを作り、ゲームなどをしながら大いに楽しみ今年を締めくくります。